

# クロス仕上げ

リバースでん粉糊をクロス糊としてご使用ください。  
施工可能面積は1セットで約150～200m<sup>2</sup>です（ビニールクロスの場合1m<sup>2</sup>あたり150gが基準）。  
クロス素材に応じて糊の塗布量を調整してください。

## 施工手順

### (1) パテの粉をよく落としてください。

パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



### (2) 事前にコーキングをさすとクロスをめくれや剥がれを抑えられます。

クロス張り前に廻り縁や巾木上に同系統色の内装用コーキングをさしておくともくれや剥がれを防ぐことができます。



### (3) クロスの素材に応じて糊の塗布量を調整してください。

ビニールクロスの場合1m<sup>2</sup>あたり150gが基準です。  
紙クロス・布クロスなど吸水性の高い素材やオープンタイムを要する和紙などは素材に合わせて塗布量を増やしてください。

### (4) 「つきつけ張り」または「重ね張り」をおすすめします。

つきつけ張りはカッターで下地を傷つけないのでクロス張り替えにおすすめの方法です。  
糊付機のスリッターでクロス端をまっすぐ断裁してあるのでつきつけて張ります。  
クロスは無地で厚めのものを選ぶときれいに仕上がります。

### (5) 重ね切りをする際は必ず下地保護テープをご使用ください。

重ねて切ると下地まで切ってしまう場合が多く、時間の経過とともに切断面から剥がれるなどのクレームの原因になる場合があります。  
保護テープを貼ることでカッターでクロスをカットする際に下地をガードしてくれます。

### (6) ボードの紙を切らないようご注意ください。

力の入れ過ぎでボード表面も切ってしまうと、ジョイント部分が後でめくれたり剥がれたりする原因となります。



## 注意事項

- ・リバースコートを塗った下地は吸い込みが良くなるため、リバースコート下地に張る場合は基準量よりも約20%程度多く糊を塗布してください。
- ・リバースでん粉糊以外のクロス糊を使う場合は、P.28の練り水を使って糊を練ってください。
- ・リバースでん粉糊は樹脂を加えていないでん粉糊ですので、固形糊は少し硬めになっています。専用希釈液を加えて攪拌してもまだ糊が固い場合は、さらにセラミック水を500cc加えて再度攪拌してください。

## 漆喰壁にクロスを張る場合



全面にリバースシーラーを2度塗りして表面を固めます。  
施工面が汚れている場合は、作業前に水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。  
汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



リバースシーラー乾燥後、水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして壁面を平らにします。

※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテが完全に乾いたら一度紙ヤスリをかけ、さらにもう1回パテを塗ります。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。  
作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。  
パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



リバースでん粉糊を多めにしてクロスを張ります。増やす量はクロスの種類により調整してください。張る前に廻り縁や巾木上に同系統色の内装用コーキングをさしておくともくれや剥がれを防止できます。